

家政学部 被服学科

次の問 1 および問 2 に答えなさい。なお、解答には各問題ごとに指定の解答欄を使用すること。

問 1. 以下の文を読んで、(1)、(2)の設問に答えなさい。

わたしたちの日常において、年齢や障がいのあるなしにかかわらず、「だれもが暮らしやすく」「いつもどおりに」「あたりまえに」生活を送れる、共生社会の実現が望まれている。共生社会の実現には、ノーマライゼーションや、バリアフリー、ユニバーサルデザインの考え方が、重要視されている。

- (1) ノーマライゼーション、バリアフリー、ユニバーサルデザインの三者の関係性について、少なくとも一つの図を用いて説明しなさい。
- (2) ユニバーサルデザインの考え方を、衣服のデザインや製作に適用するためには、どのような問題があり、それをどのように解決することが必要か、あなたの考えを 200 文字以上 300 文字以内で書きなさい。

問 2. 以下の文を読んで、(1)、(2)の設問に答えなさい。

持続可能な社会のために、わが国は「循環型社会形成推進法」をはじめとした法令を整備している。これらの法令にのっとり、国民一人ひとりがそれぞれの立場で3 Rを推進するなど、環境保全に向けた活動への参加が求められている。

- (1) 文中下線①の 3 R とは何か、解答欄に書きなさい。
- (2) 文中下線②の環境保全に向けた活動のうち、衣生活の立場からできることや、なすべきことを具体的にあげて、循環型社会の構築にどのように寄与するか、あなたの考えを 400 文字以内で書きなさい。

[以下の余白は、下書として使用しても構いません。]